

## INDEX

会長挨拶、義援金の報告・御礼……………	P2
震災後の岩手大学の状況と取組……………	P3
同窓会連合の活動状況……………	P4～5
各同窓会の活動状況……………	P6～7
岩手大学の情報……………	P8



## 岩手大学同窓会連合会長挨拶

会長 太田原 功



2011年3月11日東北地方を襲った未曾有の大地震と大津波、そして余震、更には福島原発事故の他、世界規模での風水害等が起きております。被災された同窓の方々に心からなるお見舞いを申し上げます。

岩手大学では震災直後、「東北地方太平洋沖地震岩手大学被災学生支援募金」を立ち上げました。この募金活動を全面的に支援する活動を同窓会連合の皆様をお願い致しましたところ、同窓生並びに関連の方々から多額の募金を頂戴し、藤井学長に贈呈致しました。これに対して学長から丁寧なる感謝状を頂戴致しました。ご協力くださった皆様方に厚く御礼申し上げます。下欄に詳細を掲載しましたのでご覧ください。

従来大学独自の事業であった「卒業生・修了生と学長と

の懇談会」を、昨年度からは「連合と大学との共催事業」として昨年は仙台、今年は札幌で行いました。札幌の懇談会は盛岡、八戸に次いで通算4回目であり、約120名の方々にご参加頂いて盛会でありました。来年は東京で開会の予定で準備を進めております。懇談会では、学長始め副学長、各学部長から大学の様子をお伺いするとともに、質問やご意見を申し上げる絶好の機会ですので進んでご参加下さるようお願い致します。

同窓会連合が発足してから3年、各学部同窓会会合に恩師を始め、他の同窓会会員をもお招きする機会が増えたと伺っており、連合設立の趣旨をご理解頂きつつある証左であると推察し、喜んでおります。

今後共、同窓会連合活動へのご協力を切にお願ひ申し上げます。

## 岩手大学長挨拶

学長 藤井 克己

このたびの東日本大震災において6,000名余りの在学生のうち、5%を越す300名以上が被災しました。その多くは津波による家屋損壊、家計支持者の収入激減というのですが、中には原発事故による避難者も含まれています。これらの学生に対し、大学としても授業料・入学料の減免措置を講じてきました。併せて学生支援募金を4月に立ち上げ、学内外に広く取り組んで参りましたが、このたび同窓会連合より多額の御芳志を頂くこととなりました。同窓生の皆様の母校への変わらぬ熱い想いに、関係者一同、感動

し感謝しているところです。

おかげさまで被災による学業断念者は一人もなく、10月22、23日には例年通り不来方祭（学園祭）も開催され、キャンパスは若々しい活気に溢れました。この場を借りて同窓会連合に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも母校岩手大学に変わらぬ御支援をお願い申し上げます。



## 東日本大震災に係る義援金の報告と御礼

会長 太田原 功



義援金贈呈の様子：左から太田原同窓会連合会長、岩淵理事、藤井学長（9月28日）

平成23年3月11日（金）に発生いたしました「東日本大震災」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。同窓会連合では、今回の震災により被災した岩手大学生を支援することを目的に、「岩手大学同窓会連合義援金」を立ち上げ、4月から各学部同窓会を通じ、義援金の募集を行ってまいりました。その結果、卒業生及び卒業生関連の多数の方々から沢山のご寄付をいただき、集まった義援金は8,478,770円となりました。多くのご支援・ご協力誠にありがとうございました。お寄せいただいた義

援金は、同窓会連合会長から大学に全額を寄付し、在学生への修学支援等の一助として使用していただくこととなっております。なお、10月18日（火）にはこのことにつきまして、藤井学長から感謝状を頂戴いたしましたので、ここにご報告いたします。

これからも被災学生の救済支援や被災地域の復興のため、同窓会連合としての協力を模索しつつ、「オール岩大」で復興支援に取り組んでいく所存です。今後とも一層の温かいご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



大学からいただいた感謝状（10月18日）

# 東日本大震災に係る岩手大学の状況と復興支援の取組

平成23年3月11日（金）に発生した東日本大震災により、岩手県は甚大な被害を受け、岩手大学でも残念ながら前途有為の学生が1名犠牲となりました。心よりご冥福をお祈りいたしますとともに被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

ここに岩手大学の震災後の状況とともに、教職員・学生が一丸となり取り組んでいる復興支援の活動をお知らせいたします。被災地復興には多くの時間がかかりますが、少しでも早い復興に向け様々な活動を行っています。

## 岩手大学の東日本大震災復興支援への主な取組

### 3月11日(金) 14:46分発生 東日本大震災発生(※盛岡市 震度5強)

3月11日

#### 【危機対策本部】を設置

①学生・教職員の安否確認、②建物・設備の被害状況等確認

#### 【岩手大学の被災状況】

##### ①学生・児童・教職員の被災状況

犠牲者：1名（学部学生）、要支援学生：334人（23.9.9現在）

※家屋（実家）の損壊、家計支持者が亡くなった又は大幅に収入がなくなった、実家が原発の影響を受けた者など

被災教職員：14名

##### ②建物・設備に関する被害

「危険」「要注意」はなかったが、天井の破損、水漏れ等はある。また、分析機器等、修理・メンテナンスが必要な物品あり。



3月11日 被災直後の図書館



3月23日 学科毎の学位授与式

3月12日～

#### 学用品等の物資支援

全国から辞書・文房具等を募集し、被災地の学校に配布。また学内で使用していない自転車（21台）を整備し、盛岡市を通じ被災地へ提供

3月23日

#### 卒業式の中止（※学科毎の学位授与式を実施）

3月24日

#### 【東北地方太平洋沖地震岩手大学被災学生支援募金】の立ち上げ

（岩手大学被災学生への給付（10万円）を目的とした募金。計253名へ給付）

※同窓会連合も計8,478,770円を寄付。



4月1日～ 移動診療車での診療

4月1日

#### 【岩手大学東日本大震災復興対策本部】を設置

5部門（「情報・連絡調整部門」、「学生支援部門」、「施設・設備部門」、「地域復興支援部門」、「健康管理部門」）からなる「復興対策本部」を設置し、全学をあげて地域の復興にむけた取り組みを開始。

4月1日～

#### 【被災動物の移動診療】

農学部附属動物病院では移動診療車「わんにゃんレスキュー号」を使用し、被災地での移動診療を実施。計129頭の犬、猫などを診療

4月6日～

#### 被災地の現地調査、圍場の被災状況、土壌サンプリング調査等の実施

4月6日～

#### 【多様な学生ボランティア活動】

大学公認の学生ボランティア団体「天氣輪の柱」が中心となり、学生ボランティア活動を実施。（23.11.7現在 延べ1,081名参加）

4月7日

#### 入学式の中止

4月11日～

#### 震災復興に関する委員会への参画

国が所管の「東日本大震災復興構想会議検討部会」に教員1名参画。また、「岩手県東日本大震災津波復興委員会」委員、及び被災地市町村の復興計画策定等に計教員23名参画。



4月6日～ 大船渡小学校での瓦礫撤去作業

4月18日～

#### 【子どもの心のケア】のため、心理カウンセラー等の講師を派遣（計6市町村）

4月18日～

#### 【教職員によるボランティア活動】

宮古市、釜石市、陸前高田市を中心に、家屋内のガレキ撤去や側溝の泥上げ等のボランティア活動を実施（23.11.7現在 延べ385人参加）



5月16日～ 正門前に設置されたメッセージボード

5月9日

#### 【新入生歓迎の集い】の実施（※入学式の代替行事として）

授業の開始（※例年の約1ヵ月遅れ）

5月16日

#### 大学正門前に、震災復興に向け地域に発信したメッセージボードを設置

5月18日

#### 【岩手県沿岸復興プロジェクト】の実施

4つの分野（『被災者（緊急）支援』、『水産業』、『地域防災』、『産業復興』）について、学内からPJを公募。28プロジェクトを支援中。（計231名が参加）

8月10日

#### 【中古パソコンの提供】

日本IBM株式会社から無償供与された中古PC500台を整備し、各自治体を通じて被災地の民間企業等に提供



5月18日～ 復興プロジェクト活動

10月1日

#### 【岩手大学三陸復興推進本部】及び釜石サテライトの設置（現地スタッフ派遣）

三陸沿岸地域等の復興支援のため、関係自治体、協定大学等と連携を図りながら、①教育支援、②生活支援、③水産業復興推進、④ものづくり産業復興推進、⑤農林畜産業復興推進、⑥地域防災教育研究の事業を展開する。

## 平成22年度事業報告について

### 1. 理事会の開催

第3回：平成22年6月11日（金）

場所：岩手大学事務局第1会議室

議題1. 役員を選出について

- 平成21年度事業報告（案）について
- 平成21年度決算（案）及び会計監査結果について
- 平成22年度事業計画（案）について
- 平成22年度予算（案）について など

第4回：平成23年1月27日（木）

場所：岩手大学事務局第1会議室

議題1. 次期役員について

- 第4回卒業生・修了生と学長との懇談会について
- 平成23年度事業（案）の検討について など

### 2. 運営委員会の開催

・平成22年4月～平成23年3月まで計6回開催（メール会議含む）

### 3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会」の開催

・大学とともに主催し、懇談会を開催した。

【内容】大学側からの大学の現状と取組状況の紹介、意見交換 等

日時：平成22年8月7日（土）15時～

場所：ホテルサンルート仙台（仙台市青葉区） 参加者：69名

### 4. 「岩手大学ホームカミングデイ」の開催

・大学とともに主催し、ホームカミングデイを開催した。

【実施イベント】パネル展示、岩手大学近況報告会、懇親会、

岩大グッズ販売、共同研究品販売 等

日時：平成22年10月24日（日）10時～

場所：岩手大学上田キャンパス

### 5. 会報の発行

平成22年12月 第2号発行

（掲載内容）：同窓会連合役員からの挨拶、平成21年度事業報告、第2回岩手大学ホームカミングデイ、第3回卒業生・修了生と学長との懇談会の報告 など

### 6. 在学生への支援

・大学で実施している「国際ボランティア事業等参加者支援事業」及び「海外留学派遣支援事業」の2事業の支援を行った。（金銭補助）

### 7. ガンダイニングへの協賛

・岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を行った。

【放送日】平成22年10月27日（水）～平成23年1月26日（水）

毎週水曜日 計13回放送

エンディングでの表示

“同窓生は岩手大学を応援しています 岩手大学同窓会連合”

### 8. 「コミュニティネットワーク事業」の検討について

・大学のサークル団体に、コミュニティネットワークサービスに対するニーズについてアンケート調査を行った。その調査結果を踏まえ検討した結果、来年度の事業から除くこととした。

### 9. 東日本大地震に係る義援金の募集

・震災で被災した岩手大学生を支援するため、義援金の募集を実施した。

※集められた義援金については、大学で行っている“東北地方太平洋沖地震岩手大学被災学生支援募金”に寄付する。

## 平成23年度事業計画と実施状況について

### 1. 理事会の開催

第5回：平成23年5月26日（木）

場所：岩手大学事務局第1会議室

議題1. 義援金の募集について

- 次期会長等の選出について
- 平成22年度事業報告（案）について
- 平成22年度決算（案）及び会計監査結果について
- 平成23年度事業計画（案）について
- 平成23年度予算（案）について など

### 2. 運営委員会の開催

計2回開催 第16回：平成23年5月9日（月）

第17回：平成23年10月3日（月）（メール会議）

### 3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会」の開催

・岩手大学との主催事業として、6月25日（土）に札幌市を会場に実施する。

・同窓会への周知として、（1）北海道新聞への広告（2）札幌市周辺在住の卒業生に対し往復ハガキによる案内を行い、周知を図る。

### 4. 在学生への支援

大学で実施している「国際ボランティア事業等参加者支援事業」及び「海外留学派遣支援事業」を継続して支援する。（金銭支援）

### 5. 「会報（第3号）」の発行

例年同様、12月末頃に会報（第3号）を発行する。

### 6. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を行う。

### 7. 義援金の募集について

被災した岩手大学生を支援するため、引き続き義援金の募集を行う。（募集期限 8月31日（水））

## 平成22年度 岩手大学同窓会連合 決算

### 【収入の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	2,000,000	2,000,000	0	4同窓会×500,000円
前年度の繰越金	870,647	870,647	0	
その他収入	260	347	87	利息
計	2,870,907	2,870,994	87	

### 【支出の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	残額	備考
事業費	2,432,000	1,228,144	1,203,856	①卒業生・修了生と学長との懇談会への協力 425,875（広告費・旅費） ②会報発行 444,769（印刷費、発送補助費） ③在学生への支援 200,000（事業支援費） ④ホームカミングデイへの協力 0 ⑤ガンダイニングへの協賛 157,500（協賛費）※ホームカミングデイ経費から ⑥コミュニティネットワーク事業 0
会長活動経費	100,000	0	100,000	
会議費	4,800	3,960	840	（お茶代）
事務費	34,000	4,095	29,905	（振込手数料）
予備費	300,107	161,140	138,967	（旅費）
計	2,870,907	1,397,339	1,473,568	

収入決算額－支出決算額＝繰越額	2,870,994	－1,397,339	＝1,473,655
-----------------	-----------	------------	------------

## 第4回卒業生・修了生と学長との懇談会の開催



懇談会の様子 (1)

平成23年6月25日(土)、札幌市内のホテルを会場に「卒業生・修了生と学長との懇談会」が開催されました。平成20年度から毎年実施されているこの懇談会は、これまでに八戸市、盛岡市、仙台市で行われ、札幌市を会場とした今回は、札幌市近郊在住の方を中心に約120名の参加がありました。

懇談会では、まず太田原同窓会連合会長から、「4同窓会が集まり、ともに活動・交流を深められる良い機会。また同窓会連合は岩手大学を支えていきたいという意味も込められ設立された。これからも卒業生の方々に御協力をお願いしたい。」と挨拶を述べました。次いで藤井学長から、3月11日に発生した東日本大震災に係る学生支援の取組状況等について説明があり、被災学生支援としては、奨学金の付与や入学科・授業料免除の実施、就職内定取消者を研究生として受け入れたことなど、また行事関係としては卒業式・入学式の中止などの報告がありました。

その後、高畑理事(教育・



懇談会の様子 (2)

学生担当)及び各学部代表者から、学生の就職状況や学生寮(自啓寮・同袍寮)の改修や学内保育スペース「ばるんひろば」の設置の報告のほか、最近の学部の取組等について説明がありました。

懇談会の最後には、質疑応答・意見交換が行われ、参加者からは、「大学の就職支援の取組」や「大学の考える地域貢献とは何か」など岩手大学に関する幅広い様々な意見が出され、参加者の母校への関心の高さを窺い知ることができました。

懇談会終了後に行われた懇親交流会では、参加者間で記念撮影をするなど親睦を深め合い、最後は卒業生全員で学生歌を歌い、盛会のうちに終了しました。

来年度は6月30日(土)に東京を会場に開催する予定ですので、ぜひご参加ください。

詳細については決まり次第ホームページ(<http://alumni.iwate-u.ac.jp/>)に掲載いたします。



懇親交流会の様子 (1)



懇親交流会の様子 (2)

## ガンダイニングへの協賛について

同窓会連合では、岩手大学の様々な活動やあまり知られていない魅力を卒業生や地域の皆様に知ってもらい、より親しまれる大学になれるよう岩手大学を応援するために、岩大を紹介するテレビ番組「ガンダイニング」の協賛を行っています。

この番組は、大学内の様々な取組や研究、学生の姿を紹介するミニバラエティ番組で、今年で第7回を数えます。アシスタントナビゲーターを務めるお馴染みの岩手大学イメージキャラクター「がんちゃん」をはじめ、今年度は現役の岩手大学生がリポーターを務め、大学を分かりやすく楽しく紹介してくれています。

興味のある方はぜひご覧ください!



### 【平成23年度放送日程】

IBC岩手放送テレビ  
平成23年10月11日(火)~平成24年1月24日(火)予定  
毎週火曜日 21:54~(3分間) 計13回

※県外在住の方は、岩手大学ホームページ(<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/gandainning.shtml>)から過去1年分の放送をご覧ください。

## 「海外留学派遣事業」・「国際ボランティア等参加者支援事業」への支援



国際ボランティア参加者の様子 (1)

同窓会連合では昨年度から在学生への支援として、「海外留学」及び国際教育交換協議会(CIEE)が主催する「国際ボランティア事業」、「国際エコボランティア事業」等に参加する学生に対し、大学を通じ国際ボランティア参加者の様子 (1) 加経費の一部支援(年間20万円)を行っています。「海外留学」とは、主に岩手大学が学生交流協定を締結している海外大学への交換留学や語学研修などで、「国際ボランティア事業」・「国際エコボランティア事業」等は、城や教会の修復、海ガメの保護、環境保護に関するボランティアなどを行うものです。これらの事業に参加する学生には、語学の習得はもとより、普段の日常生活では体験できない多くの貴重な体験を通じ異文化交流の促進・国際理解力を深めることが期待され、今後の学生生活さらには社会に出てからの大きな糧となっています。

同窓会連合はこれからの時代を担う岩大生を応援していきます!

### 【平成22年度実績】

- 国際ボランティア等参加者支援事業 採択者 6名(申請者13名)
- 海外留学派遣支援事業採択者 7名



国際ボランティア参加者の様子 (2)

# 七友会

## 人文社会科学部 同窓会

Shichiyukai



### 設立30周年記念行事

七友会は1981年(昭和56年)3月に設立。連合の中では比較的若い同窓会ではありますが、同窓生の数も6,000名を超え、その歴史と伝統は着実に形作られてきております。本年は創設30周年を迎え、去る7月2日に記念行事が開催されました。

この30周年記念行事は3月の震災を踏まえ、「震災復興支援に関する討論会」と「七友会設立30周年震災復興祈念交流会」の二部形式をとって実施いたしました。交流会に先立ち、第一部の討論会(マリオス会場)では「震災への支援として学部・同窓会は何ができるか?」をテーマにパネルディスカッションが行われました。同窓会側と学部教員側それぞれから話題提供をいただき、人文社会科学部ならではの支援の道を共に模索する画期的な会となりました。第二部の「七友会設立30周年震災復興祈念交流会」はホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで行われ、約130名の同窓生、退職及び現職教職員が集まり旧交を温めました。この交流会の場では岩手大学被災学生支援の募金等も行われました。今回のイベントを機に、今後も同窓会七友会と学部が連携をはかり、長期的な視点で震災復興支援を検討していくことになっております。

こうした大学との共同の試みは、同窓会にとっても今後ますます重要なものになってくると考えているところです。

### 活動報告

- ◆学部就職ガイダンス(学部教育後援会と共催):今年度は23年11月15日(火)の夕刻より実施。第一部は、テレビ岩手報道制作局次長兼報道部長遠藤隆氏(人社1期生)の講話「社会で役立つ企業人〜報道マン・人社OBの視点から〜」(G1教室)、第二部は場所を中央食堂に移し、現4年生の就職内定者による就職活動体験報告の後、情報交流・懇親会が行われました。
- ◆人文社会科学部・学術講演会(奨学寄附金による支援):今年度は下記の学術講演会が開催されました。  
演題:「岩手の生んだ鬼才・田中館修三先生  
—太平洋戦争時シンガポールでの事蹟をめぐって—」  
講師:玉懸博之氏(東北大学名誉教授) 2011年7月11日(月)

### その他の活動

- 同窓会報『七友会だより』の発行[第32号(23年3月)、第33号(23年9月)]
- 評議員会の開催(23年6月11日:岩手県公会堂)



復興祈念交流会風景:先生達を囲んで(ホテルメトロポリタン盛岡)

# 一祐会

## 工学部 同窓会

Ichiyukai

この度の震災により被災された方々にお見舞い申し上げます。一祐会としては、被災支援を中心に活動を進めている状況です。

総会での支援事項承認を受け、対応のための被災状況確認、在校生と卒業生の方々の安否確認から始まりました。岩手大学のご協力もいただきながら、卒業生の皆様には義援金の支援等々をお願いしています。沢山のご協力、ありがとうございます。大学への義援金と同窓生へのお見舞いをさせていただきました。現在は、さらに卒業生の方々へお見舞いをさせていただくべく、安否および被災状況の確認、義援金のお願いを継続させていただいています。北社やHPで、いずれご報告させていただきます。

また、復興支援も含め、現在の在學生やこれからの入學生への奨学金制度についても検討を進めています。

例年の北社発行、支部総会支援などの通常業務に加え、学生サービス事業として、一祐会主催で、企業合同説明会を開催しました。卒業生のお勤めの企業さんをはじめ43社の参加をいただき、参加学生340名と盛況に終えました。関係者には感謝申し上げます。おかげさまで、今期の就職活動も順調とお聞きしています。今年度も実施を計画しています、ご協力お願いします。

さらに、卒業生には、各種証明書の申し込み代行も業務に加え実施しています。ご利用いただければ幸いです。加えて、久しぶりに、学内一祐会会員の会食会を行いました。いま、51名もの会員が教職員です。にぎやかでした。

来年度の総会は、札幌に会場を移して開催します。2012年5月19日(土)16時から、ホテルサンルートニュー札幌で、講演会、総

会、懇親会を行います。沢山の方のご参加をお願いします。

また、一祐会は来年、創立70年にあたります。そこで、盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡本館で、一祐会創立70周年記念事業を、2012年9月16日(日)14時から開催します。記念誌として卒業生の方々からの寄稿で構成、発行することにしました。ぜひ、ご投稿、ご参加下さい(詳細は北社をご覧ください)。

最後になりますが、これからも、ぜひ、震災支援のご協力をお願い申し上げます。また、お時間がありましたら、一祐会館にお出かけ下さい。



一祐会主催企業合同説明会の様子

# 北桐会

## 教育学部 同窓会

Hokutokai



平成23年度の北桐会は、6月18日に評議員会が開催され、会務の報告と事業計画・会計等承認されました。常任理事会を中心に会務の具体的計画を進めております。本誌では22年12月から23年11月までの会務報告をいたします。

### ①北桐ホームページの更新

更新が遅れていましたホームページの更新を少しずつ行っております。まだまだ未完成ではありますがご覧頂ければ幸いです。

<http://www.edu.iwate-u.ac.jp/hokutou/>

### ②植樹事業

6月5日・9月29日に植林地の現状視察調査を行いました。武田豊三元会長を中心にこれまでの事業の整理を行っております。現地での最も成長が良いと思われるカラマツは胸高周囲102cmに至っております。(写真参照)

### ③支部活動

現在16支部があり、総会等の報告が寄せられています。6月25日札幌で開催されました、第4回岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会へ北海道支部の皆さんに参加して頂きました。御礼申し上げます。来年第5回の同会が東京での開催が決定しております。東京支部の方々に参加して頂くこととなりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

### ④『北桐』の発行

北桐は50号の特別号になりました。創刊号からの50号までの表紙デザインの紹介が掲載されました。本年度も会員の皆様からご協力いただきました発行・発送協力費はこの発送経費の

一部に充当させていただきました。今回の震災により春に発送できなかった北桐50号追加発送を1,342通(被災地岩手県、宮城県、福島県)8月に発送いたしました。

### ⑤準会員支援活動

新入生へ入学記念品として学生歌人のCD(デザインを新しくいたしました。)と会報を、卒業・修了記念品として岩手大学Tシャツ(デザインを新しくいたしました。)を贈呈しています。教育学部へは学生教育支援金として、20万円を寄附いたしております。また本年は、東日本大震災関連で教育学部へ地域連携関係事業助成として50万円(4月27日)を寄附いたしました。この寄附金は学部の学生が被災地へボランティア活動の一部として使って頂きました。

### ⑥東日本大震災関係

被災された会員の方々およびご家族の方へ心からお見舞いを申し上げます。連合を通じて北桐会は義援金として100万円を寄附させて頂きました。今後は盛岡支部の取り組みとも連携して支援事業を進めて参ります。被災された会員の住所等の情報収集につきましても全力を挙げて対応いたしますので、ご支援頂きます様お願いいたします。



# 北水会

## 農学部 同窓会

Hokusuikai



北水会の本年の活動は、3月11日に発災した「東日本大震災」に色々な面で関わりのある一年でした。以下、当会の主な活動をご紹介します。

### ①被災学生支援募金の取り組み

岩手大学の「被災学生支援募金」に協力する同窓会連合の募金活動の決定を受け、北水会でも各支部に募金活動のお願いをしたところ、多くの会員から心温まる義援が寄せられました。国内各地の他、韓国、台湾からも義援金が寄せられ、台湾からは特に、北水会員と親交のある篤志家から高額なご寄付をいただきました。

**北水会関係募金額：約720万円 募金者数：786名**

### ②評議員会、各支部総会の開催

震災による交通機関の不通で開催が危ぶまれた評議員会が、復旧が間に合い、例年の時期の5月27日に開催出来ました。当初、震災の影響で出席が少ないのではと危惧されましたが、幸いにもほぼ例年どおりの25名の出席をいただきました。会議終了後の懇談会では、被災の状況や被災県への見舞いの話など、震災の話で持ちきりでした。各支部総会も順次開催されましたが、特に被害の大きかった宮城、福島支部の総会は“会員の絆”を確かめ合う特別の意義を持つ会となりました。宮城支部総会の閉会は、安保名誉会長の復興にむけた決意を表す、力強いエールの発声で締められたことが印象的でした。

### ③『北水会報』震災特集号の発行

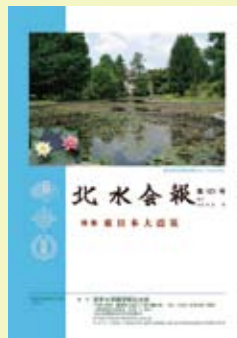
“人の絆、つながりの心を失いつつあった近頃、あまりにも大きな代償ではありましたが、この大震災で強く見直されたのが

せめてもの救いでした。こうした思いも込め、この人類史上にも残る大被災の実態を、記録として末永く後世に語り継いでいくため、「北水会報第121号」に「東日本大震災」を特集記事として掲載することにしました。”(「北水会報 『東日本大震災』特集記事掲載にあたって」より抜粋)

年2回発行している北水会報の夏号巻頭に、上記の桑島会長の言葉を載せ、震災特集記事を掲載しました。

その主な内容は

- 「震災の傷跡」(記録データ)
- 岩手大学、同窓会の取り組み
- 各支部から被災状況、応援メッセージ
- 歴代会長の激励メッセージ・震災特別寄稿 等



北水会報第121号  
「東日本大震災」特集表紙



巻頭「特集記事掲載にあたって」  
(写真は高田松原 「希望の一本松」)

## 「学位記授与式」及び「新入生歓迎の集い」の開催

平成23年3月11日の大震災の影響を受け、3月23日(水)に予定されていた平成22年度卒業式・修了式及び4月7日(木)に予定されていた平成23年度入学式を中止し、学部・研究科ごとの「学位記授与式」及び入学式の代替行事として「新入生歓迎の集い」が開催されました。



学位記を授与される卒業生

学位記授与式は、大学生活4年間を締めくくりとして、卒業生・修了生の9割以上が出席し、学内の講義室を会場に、各課程・学科ごとに分かれ一人一人に学位記が渡されました。

また、新入生歓迎の集いは、5月9日(月)に学内の体育館を会場に、学部・大学院の新入生1,500名を対象に開催されました。式では、藤井学長から「震災復興元年の入学生が、今後地域貢献活動や研究活動を通じて逞しく成長し、培った力を卒業後発揮することは、地域の発展、地域の希望の拠り所となっていく」と激励の挨拶があった後、新入生代表として農学部の佐々木優花さんが「逆境に負けない強さを見習い、岩手県、日本の復興のために精一杯学んでいくことを誓います。」と誓いの挨拶を述べました。



「新入生歓迎の集い」の様子

また、4月18日(月)から先行して授業が行われている教育学部以外の学部でも、同日から例年の約1ヵ月遅れで授業が開始されました。

## 学生寮の改修

学生寮の老朽化により上田キャンパス内にある学生寮(自啓寮、同袍寮)が平成23年3月に改修されました。



同袍寮内の様子

改修にあたっては、「地球環境に配慮したエコ寮」をコンセプトとして、(1)玄関ホールにはLED照明を使用、(2)ボイラーやストーブの燃料にCO<sub>2</sub>排出量の少ない都市ガスを使用(3)屋上に太陽光パネルを設置し、寮内の電気の一部をまかなうなど、環境問題に力を入れ取り組んでいる岩手大学らしい寮となりました。寮内には、シャワー室・ランドリー室・ラウンジ室を設置し、食事も改修前とは異なり自炊形式となりました。食堂の跡地には多目的棟を設置し、寮生やサークル・同好会の新たな活動場所となっています。また、寮室は、4人部屋から個室や2人部屋に改修を行い、併せて留学生も一緒に住むことのできる混住型の学生寮として整備し、プライバシーと共同生活を通じて自主性と社会性が育成できる環境の寮として新しく生まれ変わりました。



改修された自啓寮(左)・同袍寮(右)

## プロ野球ドラフト

### 岩手大教育学部4年 三浦さん ソフトバンクから育成枠で指名!



ソフトバンクホークスのユニフォームに袖を通す三浦さん

平成23年10月27日に行われたプロ野球ドラフト会議で、教育学部4年三浦翔太さんが福岡ソフトバンクホークスから育成3位で指名を受けました。東北の国立大学でドラフト指名を受けるのは初めてのことです。三浦さんは右投手の投手で北東北大学リーグではリーグ戦全80試合中72試合に登板し、通算勝利数35、通算奪三振400などリーグの投手記録を更新しました。

11月7日(月)には福岡ソフトバンクホークスのスカウトの方が大学を訪れ、三浦投手は「まずは支配下登録を目指し頑張りたい」と決意を述べました。

三浦投手の今後の活躍に期待するとともに卒業生一同、応援していきましょう!



指名されチームメイトと共に喜ぶ三浦さん

## 環境への取組

### (ISO14001 認証取得)

岩手大学は、平成22年11月12日付けで環境マネジメント国際規格ISO14001を認証取得しました。



登録証授賞式の様子

これまで学内では、2006年1月に「岩手大学環境方針」を制定し、環境保全・再生のための基本理念と今後の活動方針を定めるとともに、2008年6月にはISO14001認証取得を目指した「キックオフ宣言」、2008年10月には学生が主体となって環境活動に取り組む組織「環境マネジメント学生委員会」を立ち上げ、学生・教職員が一体となってサステイナブルキャンパス構築に向けた様々な取組を実施してきました。

これらの活動等が実を結び、ISO14001に認証登録され、平成22年11月18日には登録証授与式が行われ、審査機関である日本品質保証機構の森本理事長から藤井学長に登録証が授与されました。授与式では藤井学長から、「今日がゴールではなく、テイクオフ(離陸)した日。今日から自立した環境マネジメントシステムを推進していきたい」と挨拶がありました。



学生が企画したエコキャンパスツアー

これからも岩手大学は、「持続可能な社会」の形成、環境意識の高い人材の育成をすべく環境問題に取り組んでいきます。